

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レガロアコンフォート川西けやき坂新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県川西市けやき坂二丁目62番-3の一部、62番22	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 竣工	評価の実施日	2018年2月1日
敷地面積	4,678 m ²	作成者	西村
建築面積	821 m ²	確認日	2018年2月10日
延床面積	2,811 m ²	確認者	西村



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 地域の環境に配慮し、低層の建物を既存の植樹並びに経過に影響を与えないように、敷地の南側に配置し隣接する公園の植樹に影を落とさないよう配置した。また熱を発生させる空調機室外機等の設備機器は屋上に設置する計画として、ヒートアイランド現象にも配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 各住戸並びに窓にはカーテン並びにブラインド等にて直射日光による、住環境への影響の少なくなるようにレイアウトした。	Q2 サービス性能 各室の住戸は一人当たり18m ² 強の専用居住空間を用意し、寝室の天井高さを2.55メートルとし全て部屋、共用部をバリアフリーとした。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の形態を低層として、単純なコアプランとすることにより西側面に窓を設けない計画とした。
LR1 エネルギー 全ての照明器具をLED照明とし、設備配管等の劣化にも対処できる十分なスペースを確保した。	LR2 資源・マテリアル 4階の厨房にて全ての入居者の食事の調理を行うことにより余分な調理器具による熱量の発生を抑える計画とした。	LR3 敷地外環境 敷地内から大気汚染物質の発生を抑えるべく、省エネルギー機器の採用を優先した配置を行い、ガス給湯器は2階以上のバルコニーに設置、空調機の室外機は全て屋上に設置し、近隣の公園の植樹並びに付近住民にも配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される